学校番号	１００９

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「子どもの発達と保育　　育つ・育てる・育ち合う」　（教育図書出版）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子育てに関心をもち、積極的に取り組みましょう

・自分自身の成長過程をふり返り、人が人として成長することの奥深さを確認しましょう。

・育てる者としての気持ちを獲得し、子どもの様々な特徴を学びましょう。

・子どもと積極的に関わる機会をもちましょう。

・保育検定の合格めざし、家庭看護・音楽リズム(歌唱等)の技術を練習しましょう。

２ 学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と実践的な態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達と保育について関心をもち、主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	子どもの発達と保育についての課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	子どもの発達と保育に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	子どもの発達と保育に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真、観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
４・５・６月	子どもの発達の特性	☆毎時間１名が、保育についての事柄を発表し、その内容について他の生徒もレポートを書く。 （１年間を通じて行う） 導入としての DVD 「妊娠・出産について」 ○生涯発達における乳幼児期の意義 ○発達と環境 ○発達観・児童観とは ○子どもの発達過程 ○身体発育と運動機能の発達 ・発育と発達と成長 ＊新生児を測ってみよう。 （保育人形を使って） ○乳幼児のからだの発育	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:子どもの発達の特性について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達の特性について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの発達の特性を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達の特性について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 相互評価 観察記録表 実技テスト 定期考査
		＊保育検定実施 ４級「乳幼児の世話」 ＊子どもの視野メガネ	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:保育検定「乳幼児の世話」を、主体的に学習に取り組もうとしている。 b: 看護技術の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:：「乳幼児の世話　看護技術」を実践することができる。 d:：「乳幼児の世話　看護技術」に必要な知識を身に付けている。	
７・８月	子どもの発達過程	○保育体験実習に向けて ・実習先保育所とのオリエンテーションについて等 ＊実習用名札作り ＊保育体験実習	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:保育体験実習を、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:保育体験実習での課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:保育体験実習を計画に沿ってを実践することができる。 d:保育体験実習に必要な知識を身に付けている。	実習計画 実習観察 ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価
９月	子どもの発達過程	・乳幼児の生理的特徴 ＊DVD 教材 「子どもの発育について」	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a 乳幼児の生理的特徴について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 乳幼児の生理的特徴の課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 乳幼児の生理的特徴を支える技術を身に付けている。 d 乳幼児の生理的特徴について必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価

１０・１１月 １２月	子どもの発達過程	○乳幼児の発達の特徴 ・乳幼児期の特徴 ・乳幼児期の感覚・運動機能の発達 ・心の発達	○	○	○	○	a:子どもの発達過程や生活の特徴について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達過程や生活の特徴について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの発達過程や生活の特徴を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達過程や生活の特徴について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 発表 自己評価 相互評価 定期考査
	子どもの遊びと生活	○子どもの遊び ＊年中行事・祝日ポスター製作 各自制作したものを発表	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		
１・２・３月	子どもの遊びと生活	＊保育検定実施 ３・４級「音楽リズム技術」	○ ○	○	○	○	a:保育検定「音楽リズム技術」を、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:「音楽リズム技術」の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:「音楽リズム技術」を実践することができる。 d:「音楽リズム技術」に必要な知識を身に付けている。	授業観察実習ﾚﾎﾟｰﾄ 実技テスト 定期考査
		＊絵本ビブリオバトル	○	○	○	○	a:ビブリオバトルを、主体的に取り組もうとしている。 b:ビブリオバトルの課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:ビブリオバトルを実践することができる。 d:ビブリオバトルに必要な知識を身に付けている。	実習ﾚﾎﾟｰﾄ 実技テスト
	子どもの健康管理	○子どもの健康を守る ○子どもの病気 ○病気の子どもの看護	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:子どもの健康管理について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの健康管理の特徴について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの健康管理の特徴を支える技術を身に付けている。 d:子どもの健康管理の特徴について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。